

医療費分析結果報告書（概要）

- 令和5年度 -

【1 被保険者の状況】

○被保険者数（年度平均）は 392,429 人であり、前年度に比べて 1.10%減少したが、組合員数は前年度に引き続き増加し、増加率は 0.46%である。家族数は△2.69%と依然として減少が続いている。（1頁 表-1）

組合健保の増加率は、前年度から被保険者数が 0.91%、被扶養者数が△2.64%である。

○被保険者の年齢階級別割合では、50歳代が 21.55%と最も高い。（2頁 表-2）

組合健保と比較すると、15歳～24歳、50歳以上の年代で全国土木が高くなっている。

○平均年齢は、38.0歳（組合員 45.9歳、家族 29.7歳）である。

（2頁 表-3）

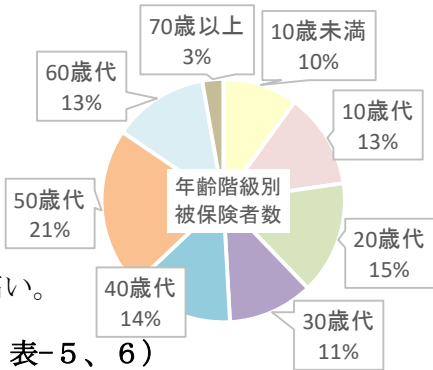
組合健保の平均年齢は 36.1歳であり、全国土木が 1.9歳高い。

○前期高齢者は 30,241 人であり、前年度に比べて 0.54%増加し、加入率は 7.71%となっている。（4頁 表-4）

組合健保の加入率は 3.56%であり、全国土木が 4.15ポイント高い。

○扶養率は 0.96人で、前年度に比べて 3.46%減少している。（5頁 表-5、6）

組合健保の扶養率は 0.68人であるが、組合健保より扶養率が高い理由は、①組合員の男性割合が 83.9%と高いため、②組合員と同一世帯であれば収入の多寡にかかわらず家族被保険者となるためと推察される。



【2 医療費の状況】

○総医療費は約 856 億円で、前年度に比べて 4.86%増加している。診療区分別の内訳は、医科入院外が 42.15%と最多であり、組合員・家族別にみると、組合員（51.09%）が家族（48.91%）より 2.18ポイント高い。（7頁 表-7、8頁 表-8 図-10）

○1人当たり医療費は、前年度に比べて 6.03%増加している。診療区分別に前年度と比較すると次表のとおりである。（9頁 表-9、12頁 表-11）

新型コロナの5類感染症への移行により医科入院の件数等が増加したこと、呼吸器系の疾患の流行により調剤処方が増加したことの影響と考えられる。（58頁）

区 分	1人当たり医療費合計	医科入院	医科入院外	歯 科	調 剤	（医科入院外+調剤）
令和5年度	218,005 円	57,908 円	90,874 円	23,391 円	44,731 円	135,605 円
令和4年度	205,604 円	53,082 円	88,521 円	22,637 円	40,502 円	129,023 円
増減額	12,401 円	4,826 円	2,353 円	754 円	4,229 円	6,582 円
増減率	6.03 %	9.09 %	2.66 %	3.33 %	10.44 %	5.10 %

※合計には訪問看護療養費を含む。

○令和4年度の1人当たり医療費では、組合健保との差が 23,861 円（13.13%）あるが、本人割合、男女割合、年齢構成の影響を取り除くと、その差は 970 円（0.53%）となる。（10頁 表-10）

その他の指標についても、構成要素を揃えると組合健保と概ね同水準となる。（13頁 表-12）

※比較対象とする組合健保資料の公表時期の関係から令和4年度で比較した。

1人当たり医療費			本人割合、男女割合、年齢構成を揃えた1人当たり医療費		
全国土木	組合健保	差（率）	全国土木	組合健保	差（率）
205,604 円	181,743 円	23,861 円(13.13%)	182,713 円	181,743 円	970 円(0.53%)

【3 疾病の状況】

○疾病分類別に医療費（歯科の疾患を除く。）を金額順にみると、入院では組合員、家族ともに「循環器系の疾患」（組合員 30.1 億円、家族 15.5 億円）が最も高い。入院外では組合員は「内分泌、栄養及び代謝疾患」（24.4 億円）、家族は「呼吸器系の疾患」（35.4 億円）が最も高い。（48 頁 表-45 ～ 51 頁 表-48）

各区分で金額が最も高い年齢階級と疾病分類は次のとおりである。

区 分	入 院			入 院 外		
	年齢階級	疾病分類	金 額	年齢階級	疾病分類	金 額
組合員	60 歳～64 歳	循環器系の疾患	7.1 億円	55 歳～59 歳	内分泌、栄養及び代謝疾患	5.2 億円
家 族	0 歳～4 歳	周産期に発生した病態	7.1 億円	0 歳～4 歳	呼吸器系の疾患	10.0 億円

○令和 4 年度の疾病分類別 1 人当たり医療費は、①循環器系の疾患（15,938 円）、②新生物（15,315 円）、③消化器系の疾患（14,608 円）の順に高い。（52 頁 表-49）

組合健保との差が最も大きい疾患について、年齢構成の影響を除くと次のとおりである。

区 分	疾病分類	1 人当たり医療費			年齢構成を揃えた 1 人当たり医療費		
		全国土木	組合健保	差（率）	全国土木	組合健保	差（率）
入 院	循環器系の疾患	10,600 円	6,761 円	3,839 円(56.8%)	7,739 円	6,761 円	978 円(14.5%)
入院外	消化器系の疾患	8,976 円	5,363 円	3,613 円(67.4%)	7,797 円	5,363 円	2,434 円(45.4%)

○令和 4 年度の前期高齢者の疾病分類別 1 人当たり医療費は、医科入院は「循環器系の疾患」（53,194 円）、医科入院外は「内分泌、栄養及び代謝疾患」（30,017 円）が最も高い。（55 頁 表-52）

組合健保との差が大きい上位 3 疾患は次のとおりである。

疾病分類	入 院			疾病分類	入 院 外		
	全国土木	組合健保	差（率）		全国土木	組合健保	差（率）
総 数	177,371 円	149,177 円	28,194 円 (18.9%)	総 数	200,787 円	181,411 円	19,376 円 (10.7%)
内分泌、栄養 及び代謝疾患	18,326 円	2,485 円	15,841 円 (637.4%)	消化器系の 疾患	24,046 円	10,919 円	13,127 円 (120.2%)
循環器系の 疾患	53,194 円	38,079 円	15,115 円 (39.7%)	循環器系の 疾患	20,895 円	30,745 円	△9,850 円 (△32.0%)
新生物	30,816 円	44,660 円	△13,844 円 (△31.0%)	他に分類され ないもの	12,556 円	3,764 円	8,792 円 (233.6%)

○令和 4 年度の前期高齢者の入院医療費の疾病分類別 5 要素分析をみると、100 人当たり新規入院件数は「消化器系の疾患」（2.12 件）が最も多く、1 入院当たり医療費は「循環器系の疾患」（252.1 万円）が最も高い。（56 頁 図-74）

各指標において、組合健保との差が大きい上位 3 疾患は次のとおりである。

疾病分類	100 人当たり新規入院件数			疾病分類	平均在院日数		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
新生物	1.87 件	4.21 件	△2.34 件	消化器系の疾患	14 日	8 日	6 日
内分泌、栄養及び代謝疾患	2.04 件	0.34 件	1.70 件	眼及び付属器の疾患	10 日	4 日	6 日
他に分類されないもの	0.98 件	0.09 件	0.89 件	損傷、中毒及びその他の外因の影響	16 日	21 日	△5 日
疾病分類	1 入院当たり医療費			疾病分類	1 日当たり医療費		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
血液及び造血器の疾患等	89.9 万円	197.8 万円	△107.9 万円	循環器系の疾患	184,012 円	88,371 円	95,641 円
循環器系の疾患	252.1 万円	158.0 万円	94.1 万円	新生物	170,838 円	81,294 円	89,544 円
損傷、中毒及びその他の外因の影響	191.8 万円	108.2 万円	83.6 万円	損傷、中毒及びその他の外因の影響	122,030 円	50,351 円	71,679 円